

減数分裂によって胞子を作る植物	胞子体
↑の核相	2n
配偶子を創る植物体	配偶体
↑の核相	n
シダ植物の胞子が発芽してできる、独立生活を行う小さな配偶体	前葉体
単相世代と複相世代を交互に繰り返すこと	核相交代
有性世代と無性世代を交互に繰り返すこと	世代交代
胞子体と配偶体のうち、シダ植物で発達している方	胞子体
胞子体と配偶体のうち、コケ植物で発達している方	配偶体
めしへの胚珠を包む組織。やがて果実になる	子房壁
めしへの胚珠において、中心部を保護する組織。やがて種皮になる	珠皮
おしへの配偶子形成過程における一番最初の細胞	花粉母細胞
↑が減数分裂してできるもの	花粉四分子 (小胞子)
↑が分裂してできる花粉の中に含まれる、2つの細胞	花粉管核 雄原細胞
めしへの配偶子形成過程における一番最初の細胞	胚のう母細胞
↑が減数分裂してできる細胞のうち、退化しないもの	胚のう細胞 (大細胞)
↑が3回核分裂してできる組織	胚のう
胚のうの上部中央に位置する細胞	卵細胞
↑の左右に位置する細胞	助細胞
胚のうの中央に位置する細胞	中央細胞
胚のうの中心部に位置する核	極核
胚のうの下部に位置する3つの細胞	反足細胞
雄原細胞が核分裂を起こしてできる核	精核
卵細胞+精核	胚
↑の核相	2n
極核2個+精核	胚乳

↑の核相(被子植物)	3n
被子植物において、↑2つの受精がほぼ同時に起こること	重複受精
<p>珠皮 胚のう 反足細胞 卵細胞 助細胞 珠孔</p> <p>受精卵 2細胞期 4細胞期</p> <p>① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧</p> <p>胚球から胚が形成される</p> <p>種皮 胚 胚乳(後に消失)</p>	①胚球 ②胚柄(はいへい) ③胚 ④幼芽 ⑤胚軸 ⑥幼根 ⑦種皮 ⑧子葉
芽のうち葉になるもの	葉芽
芽のうち花になるもの	花芽
生物の反応が明期や暗期の長さによって影響を受ける性質	光周性
花芽形成に影響を与える一定時間の連続した暗期	限界暗期
↑より短い連続暗期で花芽形成が促進される植物	長日植物
長い連続暗期で花芽形成が促進される植物	短日植物
花芽形成に日長が関係ない植物	中性植物
暗期中に短時間光の照射を行い、逆の反応を引き起こす処理	光中断
赤色光や遠赤色光を受容しているタンパク質	フィトクロム
アサガオなどに行える、人工的に夜を長くして丈が低い状態で開花させる処理	短日処理
キクなどに行える、人工的に夜を短くして開花時期を遅らせる処理	長日処理
花芽の形成が低温によって誘導される現象	春化 バーナリゼーション
茎の形成層より外側の部分を取り除く処理	環状除皮
刺激源に対して一定の方向に屈曲する植物の運動	屈性
刺激の方向に関係なく強さの変化によって生じる植物の運動	傾性

細胞の不均等な成長によって起こる運動	成長運動
水の出入りに伴う浸透圧の変化によって起こる運動	膨圧運動
植物が合成し、自身の成長・分化・生理的状態の調節を行う物質	植物ホルモン
生物が環境中の光エネルギーや情報を感知・利用するために用いるタンパク質や色素、視細胞	光受容体
赤色を受容	フイトクロム
青色を受容	クリプトクロム
遠赤色を受容	フイトクロム
植物ホルモンのうち、光屈性・重力屈性・頂芽優勢・果実の肥大などに関わるもの	オーキシン
植物ホルモンのうち、細胞の縦方向への伸長と種子の休眠打破などに関わるもの	ジベレリン
植物ホルモンのうち、細胞分裂の促進や側芽の成長促進などに関わるもの	サイトカイニン
植物ホルモンのうち、発芽抑制や気孔の閉鎖、休眠などに関わるもの	アブシシン酸
植物ホルモンのうち、落葉・落果の促進などに関わるもの	エチレン
植物ホルモンのうち、細胞や花粉管の伸長、細胞分裂の促進に関わるもの	ブラシノステロイド
植物ホルモンのうち、葉の老化促進や傷害応答に関わるもの	ジャスモン酸
植物ホルモンのうち、↑の合成を誘導するもの	システミン
植物ホルモンのうち、植物免疫の活性化に関わるもの	サリチル酸
植物ホルモンのうち、発芽促進、側芽の成長抑制、アーバスキュラー菌根菌に関わるもの	ストリゴラクトン
花芽の形成促進を行う物質	フロリゲン
明所で発芽が促進される種子	光発芽種子
暗所で発芽が促進される種子	暗発芽種子